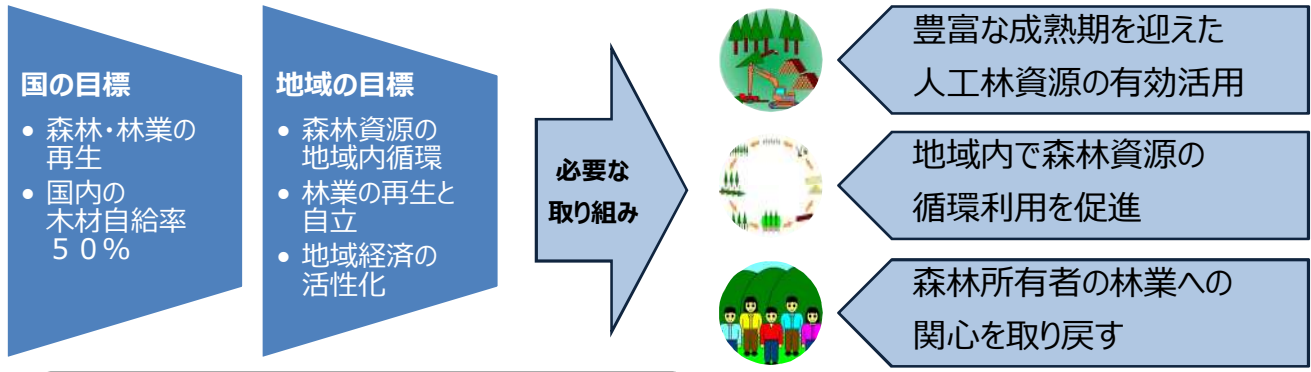
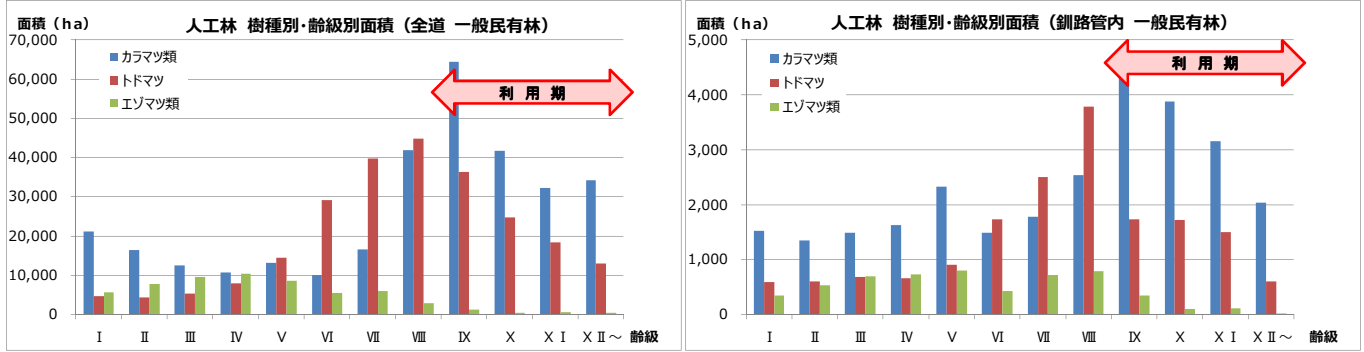


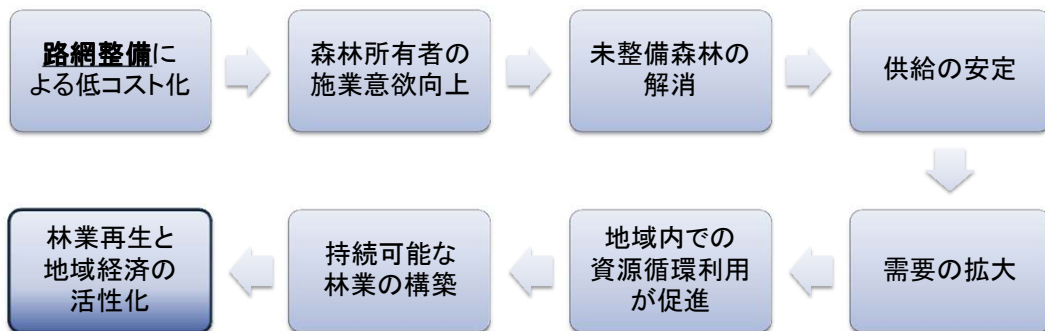
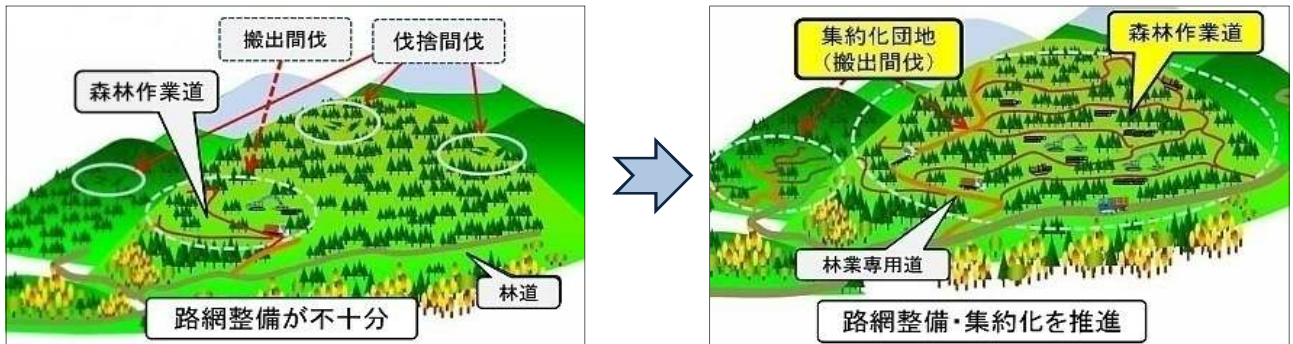
森林・林業の再生へ向けた取り組み

人工林資源の成熟が進み、利用期を迎えた林分、間伐など手入れが必要な林分が大半を占め、その活用が期待されています。今後、積極的な施業参加を推進する取り組みが必要です。



実現へ向けてのキーワード…「路網整備」

- **路網の整備**による搬出コスト削減…搬出間伐、資源有効活用の促進
- **路網の整備**による機械導入の促進…施業の低コスト化、安全性向上
- **路網の整備**による森林アクセスの向上…森林と施業に対する理解が深まり所有者の施業意欲向上
- **路網の整備**による適切な森林管理…森林内の巡視、緊急時の迅速な対応が可能



路網の整備が林業再生の第1歩

路網整備の効果

① 施業コスト削減

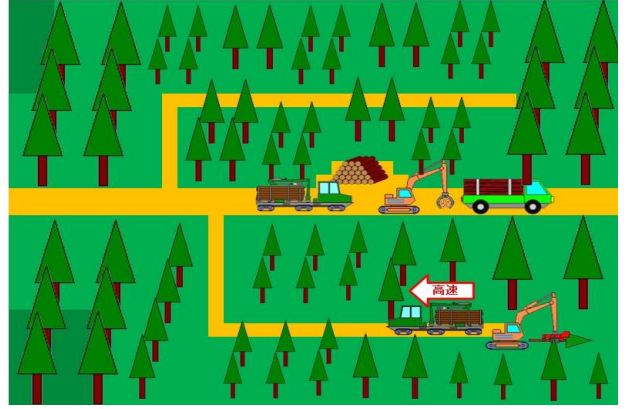
路網整備前



整備前

- 伐倒…チェーンソーによる人力伐倒
(伐倒場所まで機械進入が困難)
- 集材…林地内をクローラー系低速機械による集材
- 労働環境…作業場所まで徒歩、チェーンソー伐倒作業が伴うため、負荷が高い作業内容

路網整備後



整備後

- 伐倒…ハーベスターなどによる機械伐倒
(伐倒場所まで機械進入が可能になるため)
- 集材…路網を活用しホイール系高速機械による集材
- 労働環境…作業場所まで車両で移動、作業の大半が車両内なので、労働環境・安全性が向上

路網の整備により伐倒・集材におけるコストの削減が図られるとともに、労働環境・安全性も向上されます。

② 森林アクセスの向上

路網整備前



整備前

- 路網が十分に配置されず、部分的なアクセスしかできないため身近に感じられない。
- 森林との距離感があり、関心が低い。

路網整備後



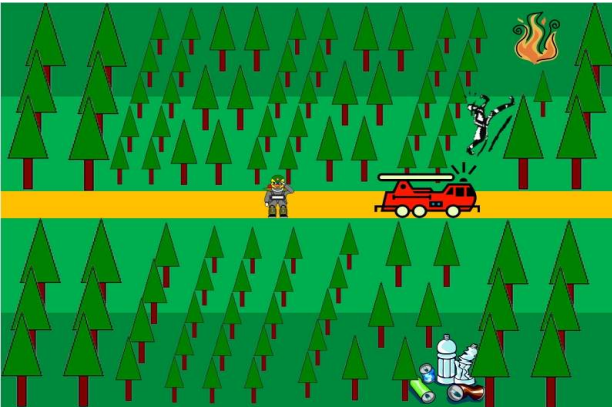
整備後

- 路網が適切に配置されているので、アクセス性が向上し、身近に感じられます。
- 森林との距離感が縮まり、関心も高まり積極的な活用と交流が進みます。

路網の整備により森林がより身近なものになり、その役割や機能についての理解が高まるとともに森林所有者などの森林整備の重要性についての理解が進み、施業意欲の向上が期待できます。

③ 森林の適切な管理

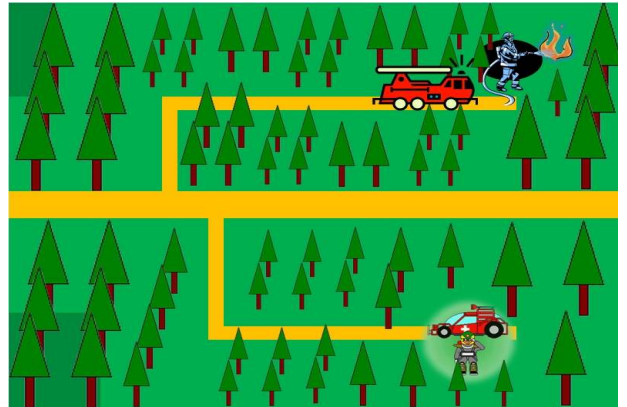
路網整備前



整備前

- 路網配置が不十分で、森林の管理が行き届かない。
- 事故が発生した時のアクセスが悪く、迅速な対応が困難である。

路網整備後



整備後

- 路網の配置が適切で、十分な管理が可能。
- 従って事故が発生する確率も低い、万が一発生した場合でも迅速に対応できる。

路網整備が進むことにより森林の管理が適切に行われ、森林の機能が持続的に発揮されます。